

地域ケア会議推進事業

～地域ケア会議の開催を通じたサロンの立ち上げ

函館市地域包括支援センター神山
主任介護支援専門員 大堀真理

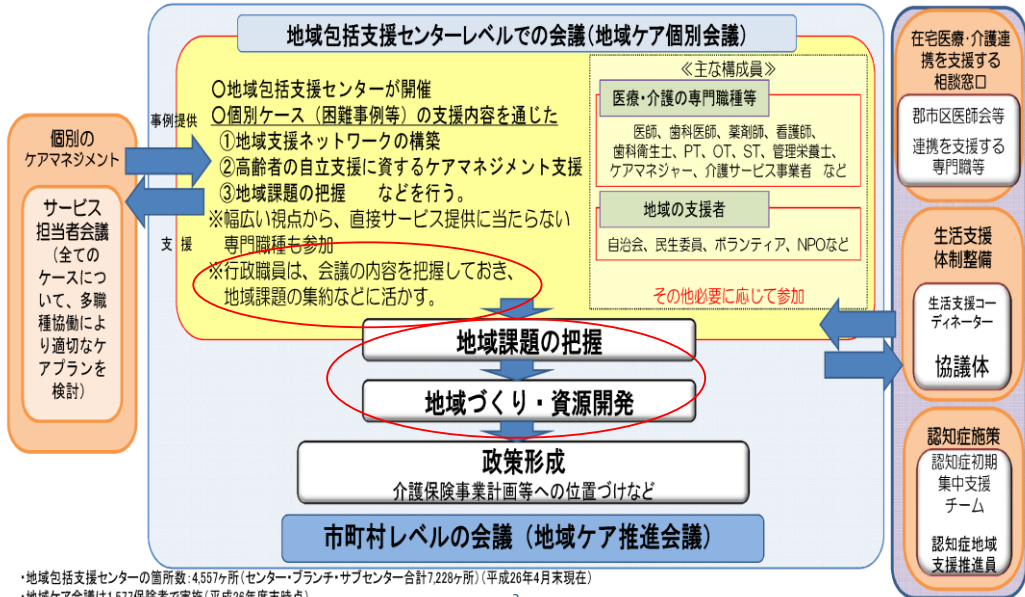
目的

平成28年度
函館市地域包括支援センター
運営事業実施方針

【地域ケア会議推進事業】

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう、高齢者個人に対する支援の充実とそれを支える社会基盤の整備を目的とする。

地域ケア会議の推進



平成28年度 第3回函館市地域包括支援センター運営協議会

平成28年度 第3回函館市地域包括支援センター運営協議会

本通中央町会 ～サロン立ち上げの経過



～本通中央町会

サロン立ち上げの経過

平成27年度から(地域包括支援センター西堀)
個別ケース(困難事例等)の支援



地域課題の把握

キーワード

①認知症 ②孤立 ③早期発見 ④集いの場

平成28年度 第3回函館市地域包括支援センター運営協議会

5

地域ケア会議 地域の課題把握



平成28年度 第3回函館市地域包括支援センター運営協議会

H28.1.13 本通町会 地域ケア会議

本通中央町会

ふれあい茶話会発足までの地域ケア会議

平成27年 4月	平成27年6月	平成27年12月
<p>「孤立を防ぐまちづくり①」 課題・方向性の共有</p>	<p>「孤立を防ぐまちづくり②」 具体策・役割分担など</p>	<p>①事前準備 町会役員が 町民に事前アンケート ②「第1回 ふれあい茶話会」</p>
<p>町会役員 3名 在宅福祉委員 1名 第1層コーディネーター 湯浅氏 包括支援センター職員 4名</p>	<p>町会役員 3名 在宅福祉委員 1名 圏域内施設管理者 1名 サービス事業所職員 1名 ボランティア 1名 包括支援センター職員 3名</p>	<p>町会役員 3名 在宅福祉委員 1名 地域住民 21名</p>

平成28年度 第3回函館市地域包括支援センター運営協議会

7

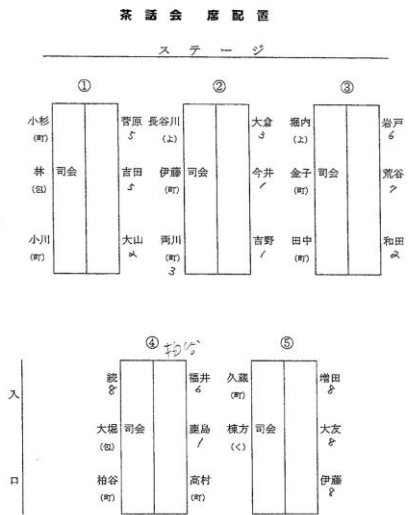
ふれあい茶話会 (27.12.16) アンケート結果 (全回答数 60件)

<p>1 日常生活での不安、不便なこと (複数) (回答数53件 回答無し7件)</p> <ul style="list-style-type: none"> 掃除、片づけ 2件 食事作りと片づけ 4件 入浴 2件 洗濯 1件 家電の手入れ 8件 ゴミ出し 1件 木の手入れ、草刈り 8件 雪かき 7件 外出 1件 近所づきあい 1件 特に無し 32件 	<p>4 知っている同好会 (複数回答) (回答数45件 回答無し15件)</p> <ul style="list-style-type: none"> カラオケ同好会 28件 麻雀同好会 16件 ディスコダンス同好会 26件 江差通分同好会 20件 石鹸作り同好会 28件 万年筆会の活動 18件 今後参加してみたい (カラオケ同好会) 1件 関心無い 3件
<p>2 今後の不安、心配なこと (複数回答) (回答数52件 回答無し8件)</p> <ul style="list-style-type: none"> 掃除、片づけ 2件 食事作りと片づけ 1件 入浴 2件 家電の手入れ 6件 木の手入れ、草刈り 12件 雪かき 15件 買い物 2件 気候な立寄り場所が無い 1件 特に無し 27件 	<p>5 今後の町会、同好会活動 (複数回答) (回答数35件 回答無し25件)</p> <p>(1) 今後の町会活動 ア 今のままで良い 17件 イ 高齢者の参加しやすい行事 A 清掃活動などを増やす (年2回 秋1回) 5件 B 喪事会 (年2回(1)、年1回(1)、月2回(1)、月1回(3)) 6件 C 会館開放 (月2回(1)) 5件 ほかにも、単発性を欠く答えが出ている箇所が幾つかある。 また、アンケート用紙の裏の質問(4と5)の回答無しが多いのは、記入漏れと思われる。</p> <p>(2) 今後の同好会活動 ア 今のままで良い 26件 イ 囲碁、将棋 3件 ウ 料理教室 1件</p> <p>(3) その他 若い人が参加できる行事 1件</p>
<p>3 町会行事で参加したもの (複数回答) (回答数58件 回答無し2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期総会 17件 夏祭り 29件 ラジオ体操 11件 敬老会 21件 新年交流会 17件 懇話交流会 13件 元氣いきいき体操 8件 みんなの体操 11件 青空野楽市 4件 公園清掃 9件 機会があれば参加する (25名5件 音空3件 ほか4件) 今後も参加しない 5件 	<p>備考 アンケートの構成が充分に譲れていなかったため、質問の1と2に矛盾する結果が出たように思われる。 ほかにも、単発性を欠く答えが出ている箇所が幾つかある。 また、アンケート用紙の裏の質問(4と5)の回答無しが多いのは、記入漏れと思われる。</p> <p>参考 回答者の内訳 (60人の年代、男女別) 64才~69才 12人 (男2人 女10人) 70才~79才 27人 (男6人 女21人) 80才~89才 20人 (男11人 女9人) 90才 1人 (女1人)</p>

平成28年度 第3回函館市地域包括支援センター運営協議会

8

本通中央町会役員 作成



注
* (包) は包括支援センター (高齢者安心相談窓口) (現在市内に6箇所) 西端の路で、高齢者のケアマネジメントを行う。
* (く) は地域支援グループの木の (的場町) の路で、ミニデイサロン、たすけあいサービス (家事、外出、お出かけ、事務代行、大工仕事、雪かき、庭仕事等のお助け) を1時間850円で行う。
* (よ) は本通よりあすセンターの路で、単身、単身低所得者向け住宅 (12戸)、住替・夫婦向け住宅 (6戸)、デイサービス、フィットネススタジオ、喫茶店を展開
* (町) は町会役員の略

本通中央町会 ふれあい茶話会発足までの地域ケア会議

平成28年 9月	平成28年 12月	平成29年 3月 予定
「本通中央町会 地域づくりの方針等について の意見交換」	「第2回 ふれあい茶話会」 参加者のグループワーク ～地域の課題	「第3回 ふれあい茶話会」
町会役員 11名 第25方面民生委員 会長 民生委員 2名 北海道教育大学 函館校 齋藤征人先生 地域のサービス事業所 1名 包括支援センター職員 名	町会役員 9名 民生委員 3名 地域住民 19名 圏域内病院の言語聴覚士1名 包括支援センター職員 2名	町会役員中心に企画中

平成28年度 第3回函館市地域包括支援センター運営協議会

9

評価

- 地域ケア会議で、他地域のサロン立ち上げの成功例などを専門家から紹介してもらうことで、町会役員らのやる気が高まった。
- 2回目の地域ケア会議からは民生委員の参加があり、サロンへの参加にも繋がった。
- サロン作りは既存の町会活動等との調和が必要。
- 現在の地域ケア会議は段取りや準備に時間と動力が必要なので参加者の負担が大きい。

平成28年度 第3回函館市地域包括支援センター運営協議会

10

今後の地域ケア会議の展望

現在の地域ケア会議の参加者は民生委員・町会役員などが中心となっている・・・

- ①新たな人材発掘(リーダーシップ)
- ②若い世代の力(後継者)
- ③住民等への浸透(広報・個別ケア会議の積み重ね)
- ④圏域高齢者のみならず、函館市全体、多世代、多分野等が協働して考えることができる仕組み